

ビジネスモデルに活かすためのアイデア発想支援セミナー・ワークショップ ～AIとの共創を目指す発明思考～

日時 平成31年 **2月26日** (火) 13:00～17:00 (12:30～受付)

会場 COMPASS小倉 会議室A AIMビル6F
(北九州市小倉北区浅野3丁目8番1号)

定員 15名 (先着順)

参加費 無料

主催 Joint-IFF
・ (公財) 福岡県産業・科学技術振興財団 (ふくおかIST)
・ (公財) 北九州産業学術推進機構 (FAIS)
・ (公財) 九州先端科学技術研究所 (ISIT)

後援 北九州市、COMPASS小倉

講師 羽立 幸司 氏

知的財産総合事務所 NEXPAT 代表弁理士
日本弁理士会 九州支部 副支部長
平成29年度中小企業知的財産活動支援事業
(地域中小企業知的財産支援力強化事業) 担当講師



会場アクセス

- JR小倉駅から
ペDESTリアンデッキ (動く歩道)
で徒歩5分
- 北九州都市高速・小倉駅北ランプ
から車で3分

※ 専用駐車場はありません。お近くの
コインパーキング等をご利用ください。



お問い合わせ

- 北九州産業学術推進機構
産学連携統括センター
担当：近江
TEL：093-695-3006
- 福岡県産業・科学技術振興財団
人材育成グループ
担当：三井
TEL：092-822-1550

セミナー・ワークショップ実施概要

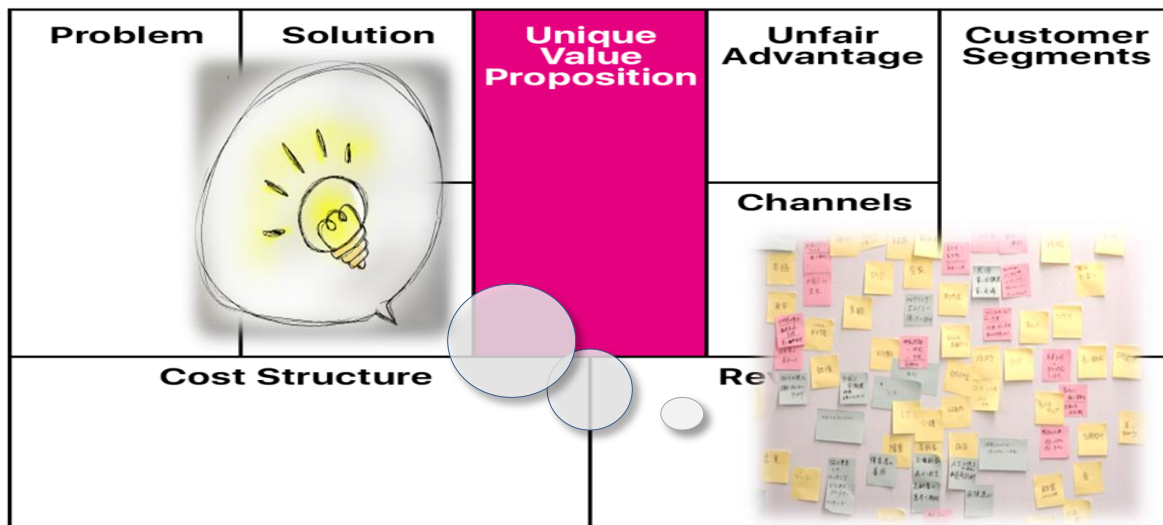
近年、事業においては、ビジネスモデルの重要性が再認識されています。特に、最近では、デザインの重要性が高まり、デザイン思考・デザイン経営という言葉も耳にする機会が増えました。

ところで、「イノベーションの前にインベンション（発明）」とも言われる特許情報は、世界中の技術情報のビッグデータです。この特許情報を上手く活用することで、発明に象徴されるアイデア出しのための着想・具現化のきっかけが得られます。その一例として、20年程前に概念検索というものが生まれ、アイデア発想支援にも使われてきました。また、現在は、特許検索などの関連ツールも、AI化が加速的に進んでいます。

今回、「発明思考」と名付け、チャレンジングな取り組みとして実施するセミナー・ワークショップは、「ビジネスモデル×知的財産×デザイン思考」の関係性を踏まえつつ、デザイン思考的な発想からヒントを得たもので、ニーズ目線を重視しながら技術的なアイデアを創出することについてアプローチします。

そして、今後進んでいくAIとの共創を目指し、AIを活用しながらも、AIにはできない人間のクリエイティブさを追及することを大きな目標にしています。加えて、「発明思考」の重要な側面として、事業をするうえでは重要とされるロジカルシンキングを、発明という技術的思想（目的・構成・効果）の捉え方からも鍛えていくものにしていきます。

なお、ワークショップでは、座学で学ぶ「ビジネスモデルキャンパス」（ビジネスモデル）と「リーンキャンパス」（事業構想など）のツールの違いを踏まえ、事業構想を検討するうえで重要な「顧客の課題」の深掘りを行うとともに、「リーンキャンパス」作りにもトライする予定にしています。



参加申込み 【締切：平成31年2月25日（月）】

- WEBでのお申し込みは、QRコードからお申し込みください。
- FAXでのお申し込みは、必要事項をご記入のうえ、
（FAX 093-695-3439）まで送信してください。



企業・団体名	フリガナ		業種
所属・役職			TEL () -
氏名	フリガナ	フリガナ	FAX () -
連絡用メールアドレス			

※ ご記入いただいた情報は、主催機関にて適正に管理し、本事業に関する業務のほか、運営・管理に供する目的のみに使用いたします。
ワークショップでは各自でWEB検索を行うため、参加者はスマートフォンやタブレットを必ず持参して下さい。